

徳島市新ホール建設候補地選定についての意見書（要約版）

1 はじめに

- ・徳島市では、平成28年11月の「徳島市音楽・芸術ホール整備推進有識者会議」からの提言を踏まえ、新ホールの平成35年度の開館を目指し、建設候補地の選定を進めている。
- ・検討会議では、建設候補地の選定の検討において、以下の3点を条件とした。
 - 「市民の芸術文化の創造拠点」・「県都のホール」として
県都にふさわしい施設機能とアクセス利便性の確保、ホールを拠点とした地域活性化の相乗効果を目指すこと
 - 整備スケジュールについて
平成35年度を開館目標としたスケジュールが実現可能であること
 - 財政負担・コストについて
財政的に過度な負担とならない計画が可能であること
- ・徳島市が示した3箇所の候補地を比較検討するため、「施設条件」、「土地条件」、「交通条件」、「周辺条件」、「整備コスト・期間」の5つの視点を設けて、各候補地の課題等を整理。

2 意見

(1) 前提条件における検討について

- 「市民の芸術文化の創造拠点」・「県都のホール」として
「市民の芸術文化の創造拠点」としての役割を果たすとともに、周辺地域への様々な効果が期待されるという視点から検討。
- 整備スケジュール
平成35年度の開館目標に向け、手続きの難易度やリスクの可能性について検討。
- 財政負担・コストについて
標準的なコストや増加要因・低減要因について検討。

(2) 各候補地についての意見

- 文化センター敷地
- 旧動物園跡地
- 徳島駅西側駐車場

3 おわりに

- ・「市民の芸術文化の創造拠点」が徳島市の「まち」「ひと」「もの」にもたらす様々な相乗効果を念頭に、ふさわしい建設地を選定すべき。
- ・子どもや高齢者、障がいのある人が文化に親しむことができる施設、周辺地域からも人々が集える施設として、アクセスの利便性や周辺施設が充実していることは重要。
- ・3候補地ともに課題があり、解決の見通しについて検討が必要。建設候補地の選定にあたっては総合的に判断すべき。
- ・平成35年度の開館目標が実現可能なスケジュールを重視した計画を要望。
- ・徳島駅西側駐車場は、新ホール整備と将来のまちづくりへの相乗効果の面で期待できる意見が多い。
- ・一方で、徳島駅西側駐車場の選定にあたっては不確定要素が多い。まずは、関係者と協議し、不確定要素の部分の検討と事業の実現性を見極めが必要。